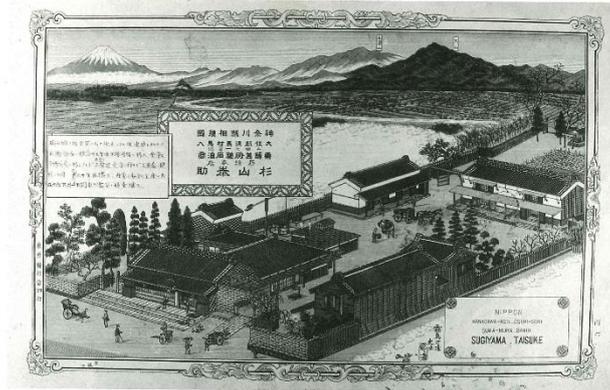


『平塚市史6』 資料編 近代(2)

資料編 近代は、全3巻からなり項目別に編年でまとめています。

近代(2)では、明治地方自治制に基づく市制・町村制の展開から、日清・日露戦争を経て、第1次世界大戦の講和が結ばれた、明治22年(1889年)から大正8年(1919年)までの資料348点を収録しました。



明治30年代 石塚本店の銅版画
版画中央には「薬舗兼砂糖石油商 石塚本店 杉山泰助」とある。

—掲載内容—

- 1 明治地方自治制と町村制の展開……………行政町村と旧村の管理運用
町村行財政の実状
勸業政策と農業の発展
町経済と景観の推移
- 2 報徳思想と村経営……………克讓社
報徳事業と俚謳集
戊申詔書の発布と報徳結社
- 3 日清・日露戦争下の町と村……………諸産業の普及
道と川 —治水と水利—
戦時下の兵事関係
- 4 公教育のひろがり和社会教育……………中郡教育会と学校経営
私立育英学校・中郡盲人学校・県立農業学校
青年会・婦人会・農業補習学校
- 5 神社合祀の動きと地方改良計画……………神社合祀問題
中郡地方改良会の組織
町村改良の計画と運動の実情
社会生活の変化

付録 偵察録(抄)